

2022年3月11日

各位

公益社団法人 全日本病院協会
会長 猪口雄二
医療従事者委員会
委員長 井上健一郎

2022年度「第20回病院事務長研修コース」の開催について

平素より全日本病院協会の活動につきまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2021年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、全面オンラインで開催いたしました病院事務長研修コースにつきまして、2022年度は集合研修の単位とオンラインの単位とを組み合わせたハイブリット型で開催する運びとなりました。

当研修は病院事務長を対象として開催しており、今回の開催で第20回目を迎えます。カリキュラムは、医療政策の動向や経営戦略、組織管理、財務会計・管理会計、院内コミュニケーション、病院管理機能、人材マネジメント、経営計画策定、共通課題検討など多岐に亘り、評価試験に合格された方を「病院管理士」として認定いたしております。

詳細につきましては、今回同封いたしますパンフレットをご高覧いただき、是非ともご参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

参加をご希望の方は、**4月26日(火)まで**にFAXにて参加申込書をご送付ください。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

<2021年度、受講いただいた病院の理事長・院長の先生方の声>

「法人の基本理念に則り、自院の現状や今後に向けた展望が多角的、詳細に分析できるようになった。」(明石リハビリテーション病院 院長 中村秀美先生)

「現況の当医療法人の弱点・問題点を明らかに浮かび上がらせ、長期目標に対して、短期及び中期的に何をすべきか、どう行動すべきかを示していただいた。」(貴志川リハビリテーション病院 理事長 殿尾守弘先生)

<お問い合わせ先>

公益社団法人全日本病院協会 病院事務長研修コース担当
〒101-8378 東京都千代田区神田猿樂町2-8-8 住友不動産猿樂町ビル7階
E-mail : jyujisya@ajha.or.jp ホムページ <https://www.ajha.or.jp/>

第20回 病院事務長研修コース 参加のお勧め (病院管理士認定)

公益社団法人 全日本病院協会

会 長 猪 口 雄 二

全日本病院協会は、国民に安全で質の高い医療を医療人が誇りと達成感を持って提供できるような環境整備を行う事を目的に活動しております。

さて、皆様ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症の拡大につきましては、オミクロン株による第6波によって、まん延防止等重点措置が各都道府県に出ており(2022年2月9日現在)、3回目のワクチン接種は始まりましたが、いまだ収束への見通しが立たない状況でございます。

本年は、4月に診療報酬改定があり、更には外来機能報告制度がスタートします。医師の働き方改革については、労働時間短縮計画の作成や特例水準医療機関指定に向けた第三者評価などが行われます。その他にも地域医療構想や医師確保計画、その先には新興感染症への対応を新たに加えた第8次医療計画など、医療機関にとって重要な施策が進められます。

このような医療機関を取り巻く大きな変化に対応するには、医療機関の経営の一翼を担う事務長職の役割が非常に重要です。事務管理部門の長である事務長職には、当該業務に係る必要な基本知識はもとより、情報や質の管理にいたる幅広い分野にわたっての見識とマネジメントスキルが求められ、地域における医療提供の将来像を見すえた経営改革を提起し、経営計画の策定、そしてそれを実際に現場で実行していく能力を高めていくことが期待されております。

今回で第20回を迎える本研修は、新型コロナウイルス感染症の関係から、対面とオンラインを単位ごとに分けたハイブリッド型での開催を予定しております。カリキュラムは、病院経営に必要な基本知識から、病院会計制度の現状、事務長として必要なコーチングとファシリテーションの基礎と応用、院内業務の再設計、経営改革計画の策定、共通課題検討など、事務長職に必要とされる幅広い分野を網羅しました。また、過去の受講生の声を反映させながらカリキュラムを毎回更新しており、より実践的な能力を身につけることができる内容となっております。

本研修では、職能練磨のための講義・演習等を行い、全受講生が「自院の経営計画」を策定し、その経営計画を実行する上での課題を共通課題として検討します。さらに、評価試験に合格された方を「病院管理士」として認定いたしております。

各病院におかれましては、すでに事務長の育成・強化のために種々ご配慮をなされてきておられると思いますが、現下の厳しい病院経営環境の中、健全な病院経営・管理の維持・向上のために、皆様からの積極的なご参加をお待ち申し上げます。



公益社団法人 全日本病院協会

全日本病院協会 医療従事者委員会



第20回 (2022年度) 病院事務長研修コース (病院管理士認定)

受講のご案内

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

受講要件

- 受講者は現在所属している施設での職歴1年以上の病院事務長、またはこれに準ずる職歴2年以上の経験を有する方で、理事長・院長が適格と認めた方であること(各施設1名)。
- 受講者は研修会において自院の経営健全化計画を作成する為、自院の経営指標や財務諸表及び経営情報を研修会内において開示が可能であり、理事長・院長に経営戦略を提言できること。
- 受講者は管理者が当研修会の受講を認めた者であること。

- 開講期間 / 2022年5月～2023年1月 全13単位
- 受講料金 / 全日本病院協会 会員施設職員 全13単位 360,000円(税込:396,000円)
全日本病院協会 非会員施設職員 全13単位 460,000円(税込:506,000円)
※一部の宿泊費及び一部の食事代を含みます。
※全単位がオンライン研修に切り替わった場合でも、宿泊費や食事代は返金いたしません。

- 病院管理士認定について / 医療従事者委員会が、受講者に対して、以下の要件に基づく審査を行い、病院管理士として認定いたします。
 - 全単位に出席すること
 - 自院経営改革計画を策定すること
 - 評価試験に合格すること(実習シート・理解度テスト・総合テスト)

- 受講定員 / 48名

- 研修会場 (新型コロナウイルス感染症の状況により変更となる場合があります。)
 - 第1単位・第10単位・第13単位 全日本病院協会 大会議室 〒101-8378 東京都千代田区神田猿樂町2-8-8 住友不動産猿樂町ビル7階 TEL: 03-5283-7441
 - 【アクセス】
 - ・JR線・都営三田線「水道橋駅」東口より徒歩4分
 - ・半蔵門線・都営新宿線・都営三田線「神保町駅」出口A4より徒歩8分
 - ・JR線「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋口より徒歩10分
 - ・都営三田線「水道橋駅」出口A6より徒歩3分
 - 上記以外の単位 Zoomミーティング上
- 宿泊施設 (新型コロナウイルス感染症の状況により変更となる場合があります。)
 - 第1単位のみ ホテルヴィラフォンテーヌ東京九段下(予定) (崇徳堂のみになります) 〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-4 TEL: 03-3222-8880
 - 【アクセス】
 - ・東京メトロ半蔵門線・都営三田線・新宿線「神保町駅」A2出口より徒歩3分
 - ・東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下駅」5番出口より徒歩6分
 - ・JR線「水道橋駅」西口より徒歩7分
 - ・JR線「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋口より徒歩13分
 - ※第1単位の宿泊手配は全日本病院協会にて行ないます。
第2単位以降に宿泊が必要な場合は、各自でご手配ください。

- 申込締切 / 2022年4月26日(火)
※定員に達し次第、受付を終了させていただいております。

- その他 / 一部の単位はZoomを使用したオンラインでの研修になります。つきましては、有線LANで繋がったパソコンをご用意ください。研修会前に事前の接続テスト等の実施を予定しております。



公益社団法人 全日本病院協会

事務長研修 第20回（2022年度）カリキュラム

事務長『基本講座』

病院経営概論	医療行政の動向を踏まえ、病院経営管理者としての事務長の果たすべき役割を認識します。また、事務長としての役割を全うするために必要な論理的思考法を学びます。加えて、各事務長間の交流を深め、相互研鑽を図ります。	■内容：医療制度改革と病院の対応方向、事務長に求められる役割と能力、よい事務長の条件、問題解決の思考プロセス、病院経営実態調査結果に基づく現状の問題点、マネジメント課題 他
経営戦略 組織管理	経営戦略の体系と戦略実現のための組織管理のあり方を学びます。病院の経営を考えるとときに、最上位の経営理念から、ビジョン、戦略、経営計画という戦略体系の流れを理解します。そして、構築した戦略を実現するための組織の設計と統制の方法を学びます。	■内容：経営理念、行動規範、ビジョン、経営戦略、事業戦略、ビジネスモデル、経営計画、業績管理、組織設計、ホールディング化、方針管理、部門別日常業務管理、事業承継、BCP 他
財務会計 管理会計	病院経営の基礎となる医療会計制度の基本を学びます。事務長に求められる財務の基本を学び、財務指標を通じて、病院経営の実態を理解して、改善すべき点を特定できるようにします。具体的には、制度会計の分析を通じて病院の問題点の抽出と改善検討を行います。	■内容：財務諸表の構造の理解、財務3表（PL、BS、CS）の関連、財務指標の構造と分析視点、損益分岐点分析、予算管理、投資対効果評価、診療科別収支計算 他
病院管理機能 人材マネジメント	事務・管理部門で求められる病院の管理機能について習得します。人材マネジメントの全般、患者の獲得を目指したマーケティングの基本、就業規則や病院法務、リスク管理や危機管理、病院としての広報について学びます。	■内容：定員設定、人材育成、人事評価、等級制度、賃金制度、ナレッジマネジメント、ABC人材マネジメント、広報、法務3類型（治療法務・予防法務・戦略法務）、就業規則 他
院内 コミュニケーション	院内コミュニケーションの円滑化と職場の活性化に向け、事務長として必要な『コーチングとファシリテーションの基礎と応用』について、演習を中心に習得します。縦割り組織の中での有効なコミュニケーションのスキルを身につけます。	■内容：マネージャーに求められる人間関係構築スキル、聴き方、コミュニケーション、職員の動機づけと職場活性化、迷惑行為・クレーム対応、コーチング、会議設計とファシリテーション 他

『改革実習』 〔病院改革計画策定実習〕

病院改革の 基本的考え方	病院経営改革の基本構成とその策定方法を学びます。将来構想を実現する課題解決と現在の問題を解決するためのプロセスを理解します。様々な場面での議論を活発にして、意義あるものにするためのディベート視点を実習で学びます。	・病院改革の考え方 ・問題解決の基本 ・課題解決の基本 ・ディベート実習
病院将来構想	自院の将来におけるありたい姿を構想します。ありたい姿の構想にあたり、医療や介護を取り巻く環境の情勢を数値で認識します。構想の検討にあたり、医療法人として目指す方向、医療法人における自院の位置づけを踏まえ、戦略の基本方向を設定します。	・医療の環境情報 ・介護の環境情報 ・法人の将来構想 ・病院の将来構想
病院外部環境分析	自院において構想した医療法人として目指す方向、医療法人における自院の位置づけを踏まえ、自院を取り巻く診療圏における人口の動向や競合施設の動向を定量的に分析します。人口動態や社会環境変化などのマクロ環境と患者の動態や診療圏、競合施設などのミクロ環境を分析します。	・法人・病院将来構想 ・組織構想 ・マクロ/ミクロ環境 ・診療圏分析
病院内部環境分析	自院の財務指標を統計値やグループメンバーの病院と比較して、分析します。自院の収支の実態を構造的に整理して、収支改善の余地を検討します。また、病院経営に影響を与えるマクロとミクロの環境を分析します。自院の内部環境を、病院機能と経営資源、組織風土の3側面から分析します。	・財務指標分析 ・経営機能分析 ・経営資源分析 ・組織風土分析
課題設定	法人の将来像、その将来像における病院の将来像を明確にします。病院の将来像を実現するための課題を整理します。マクロやミクロの環境分析の結果から導き出される課題や診療圏分析によって導き出される課題も整理します。将来構想や整理した課題を目で見てわかるように整理します。	・戦略基本方向設定 ・将来構想実現課題 ・環境分析課題 ・将来構想図解化
病院将来構想発表 共通課題設定	自院の将来構想、戦略の基本方向、その実現のための課題で構成する自院の改革計画について相互発表を行い、代表者は全体発表します。全受講者の課題の中から、共通する課題を8つ選定して、課題別に班を編成します。以後は、共通課題を検討していきます。	・病院構想全体発表 ・医療行政最新動向 ・共通課題の設定 ・共通課題の班編成
共通課題検討	共通課題は、受講者全員が自院に持ち帰って、活用できるように検討し、整理します。そのため、病院の種別や特性を踏まえた課題の解決方法策を幅広く考えます。加えて、第三者がみれば、共通課題をどのように解決すればよいか分かるように整理します。	・改革計画提出 ・共通課題の構造化 ・汎用的解決策立案 ・わかりやすい資料構成
病院共通課題 全体発表	1日目は、病院共通課題に関する全体討議を行い、課題解決策を汎用的なものに仕上げ、さらに、第三者が見ても分かるようにします。2日目は、共通課題の検討内容を全員に発表して、講師の講評に基づいて解決策の幅広い視点を学びます。	・共通課題の仕上げ ・共通課題の発表 ・共通課題の共有

		実施日	時間帯	研修概要			
集合研修	第1単位	5月14日 土	13:00 ~ 18:00	基本講座	自院の改革計画策定		
		5月15日 日	9:00 ~ 15:00				
オンライン	第2単位	6月4日 土	9:00 ~ 17:30				
		第3単位	6月18日 土			9:00 ~ 17:30	
	第4単位	7月2日 土	9:00 ~ 17:30				
	第5単位	7月16日 土	9:00 ~ 17:30				
	第6単位	7月30日 土	9:00 ~ 17:30				
	第7単位	8月20日 土	9:00 ~ 17:30				
	第8単位	9月3日 土	9:00 ~ 17:30				
集合研修	第10単位	9月24日 土	9:00 ~ 17:30			改革実習	共通課題検討
		10月14日 金	13:00 ~ 19:00				
オンライン	第11単位	10月15日 土	9:00 ~ 15:00				
		第12単位	11月12日 土				
集合研修	第13単位	12月10日 土	9:00 ~ 17:30				
		1月13日 金	13:00 ~ 19:00				
		1月14日 土	9:00 ~ 19:00				
		1月15日 日	9:00 ~ 15:00				

第1単位、第10単位、第13単位は、東京での集合研修を予定しております。
 第1単位 自己紹介や懇親会を通じて、親交を深めていただけます
 第10単位 各自が策定した自院改革計画を発表していただきます
 第13単位 共通課題の検討結果を発表していただきます
 集合研修を予定している3つの単位につきましては、感染症の状況次第で、オンライン研修に切り替える場合がございます。
 集合研修をオンライン研修に切り替える場合には、それぞれの初日の研修時刻を、13:00 から 9:00 開始に繰り上げて実施します。

2022年度 第20回病院事務長研修コース（病院管理士認定） 受講申込書

	記入日	年	月	日		
受講者氏名	ふりがな	年齢	印			
E-mailアドレス (個人)	※事務局からのご連絡は主にE-mailにて行います。記載の無いものは無効					
役職名		左記役職での 経験年数	現在の病院での 勤務年数	他の病院も合わせ た勤務年数		
		年 月	年 月	年 月	年 月	
病院名				会員 ・ 非会員		
病院所在地	〒 -					
T E L	F A X					
ホームページURL						
経営主体						
種 別	一般 ()床	医療療養 ()床	介護療養 ()床	精神 ()床	感染 ()床	結核 ()床
理事長名	院長名					
応募理由 (いずれかに○)	1. 理事長・院長より勧められて		2. 自身で理事長・院長へ提案			
	3. 他の人に勧められて(推薦者)		4. その他()			
志望動機	例)この研修を受講して、理事長院長に自信をもって経営計画に提案したい など					

<応募要項>

1. **受講要件及びスケジュール**
同封のパンフレットをご参照下さい。
2. **お申込み方法**
 - ①本申込書に必要事項をご記入の上、「承諾書及び誓約書」と一緒にFAXにて事務局までお送り下さい。
 - ②申込書受理後、「確認書(受講料お振込みのご案内)」をFAXにてご送付致しますので、内容をご確認のうえ受講料を2022年4月26日(火)までにお振込下さい。受講料の返金につきまして、2022年4月26日(火)以降に参加をキャンセルされた場合は全額返金できかねますのでご了承ください。
申込書をFAX送信後7日たつて確認書が届かない場合は下記の事務局までご連絡下さい。
 - ③おつて、受講者の簡単な経歴等をお伺いする為の「研修前調査票」をメールにてお送りいたしますので、必要事項をご記入の上ご返信下さい。
3. **お申し込み締切日**
2022年4月26日(火)※定員に達し次第、受付を終了させていただく場合がございます。
4. **病院情報及び調査票情報の利用目的**
 - ①研修において、自院の課題を分析する為に病院の情報を利用する事がございますが、研修の関係者とは機密保護の契約を結んでおりますので、病院の情報を本研修の目的以外に使用することはございません。
※上記に基づき、別紙の「承諾書及び誓約書」にご捺印の上、本申込書と一緒にFAXにてお送りください。
 - ②研修前にご提出いただく「調査票」は、講師が受講者情報を把握する為、また、受講者間での交流の為に利用します。調査票の内容を、本研修の目的以外に使用することはございません。
5. **研修会場及び宿泊施設（新型コロナウイルス感染症の状況により変更となる場合があります。）**
研修会場（第1単位・第10単位・第13単位）
全日本病院協会 大会議室
〒101-8378 東京都千代田区神田猿楽町2-8-8住友不動産猿楽町ビル7階 TEL:03-5283-7441
【アクセス】
・JR線・都営三田線「水道橋駅」東口より徒歩4分
・半蔵門線・都営新宿線・都営三田線「神保町駅」出口A4より徒歩8分
・JR線「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋口より徒歩10分
<第1単位・第10単位・第13単位以外はZoomミーティング上>
宿泊施設（第1単位のみ）
ホテル ヴィラフォンテーヌ東京九段下(予定)(禁煙室のみになります)
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-4 TEL:03-3222-8880
※第1単位の宿泊手配は全日病事務局にて行ないます。
第2単位以降に宿泊が必要な場合は、各自でご手配ください。
【アクセス】
・東京メトロ半蔵門線、都営三田線・新宿線「神保町駅」A2出口より徒歩3分
・東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線「九段下駅」5番出口より徒歩6分
・JR線「水道橋駅」西口より徒歩7分
・JR線「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋口より徒歩13分
6. **オンライン研修について**
一部の単位でZoomを使用したオンラインでの研修になります。つきましては、有線LANで繋がったパソコンをご用意ください。研修会前に事前の接続テスト等の実施を予定しております。詳細につきましては後日、メールにてご案内いたします。
7. **お申込み、お問合せ先**
公益社団法人全日本病院協会 事務局 病院事務長研修コース担当
〒101-8378 東京都千代田区神田猿楽町2-8-8 住友不動産猿楽町ビル7F
FAX:03-5283-7444 E-mail: jyujisya@ajha.or.jp

承諾書

公益社団法人全日本病院協会が主催する「第20回病院事務長研修コース」において、研修会の目的の範囲内において、当施設から受講する者が、当施設の院内データを使用することを承諾いたします。

2022年__月__日

施設名：_____

代表者氏名：_____ 印

誓約書

私は、公益社団法人全日本病院協会（以下、全日病）が主催する「第20回病院事務長研修コース」において知り得た他施設の情報を、当研修会の目的以外で使用しないことを誓約いたします。

2022年__月__日

施設名：_____

受講者氏名：_____ 印

上記承諾書及び誓約書にご署名、捺印いただき、受講申込書と一緒に FAX にてお送りください。

※1 承諾書につきましては代表者氏名及び代表者印を捺印ください。

※2 誓約書につきましては受講者氏名及び受講者の認印を捺印ください。



医療法人積仁会
旭ヶ丘病院
小口 勝弘

「多くの方に受けてもらいたい研修です」

事務長に求められる役割とスキルを理解してそれを実践することを目標としてこの研修に参加させて頂きました。

病院の中で自分ひとりがやれることは限られており、経営責任者に対してベストな判断をしてもらうためにはどのように情報収集を行い、計画立案をし、職員に実行してもらえるか。その進捗を管理し調整するためにはどうすればいいのか。全ての疑問の答えがこの研修には詰まっています。

研修期間中は、初めて聴く内容や言葉の意味を理解するだけでも大変な上に、日常業務と並行して課題に取り組むなどスケジュール的にもタイトな日々が続きましたが、この研修から得られた知識や考え方は間違いなく自分の財産です。

全国から参加された受講生の皆さんと共通の悩みや情報交換できたこともたことも、非常に貴重な経験となりました。

最後に、この研修への参加を推薦して下さった理事長に感謝申し上げるとともに、講師の先生方はじめ事務局の皆様にご心より御礼申し上げます。



社団医療法人啓愛会
美希病院
千葉 理嗣

「充実感と私自身への今後の期待」

事務長に求められる役割とは何か?職務を標準化するために私はこの研修に身を投じました。初めてのオンライン開催は、これからの時代を象徴する素晴らしい研修になったと今はすべてが充実感で満ち溢れています。講義では、池上先生、萩原講師、田中講師のお言葉一つ一つに根拠に基づく重みを感じながら、自院の題材を通じて各論を学ぶことができます。また、研修期間中にありながらも日々成長している自分を感じながら業務と向き合う私がおりました。それこそ知識が定着し自身の考え方に自信を植え付けられた証かと思えます。最後に受講生の皆様や事務局、講師の皆様にご感謝申し上げ受講者の声とさせていただきます。この感覚は受講した私達にしか味わえません。皆さんもこの価値観を経験されてはいかがでしょうか?この研修で学んだ知識とスキルは、将来構想の実現に向けてどのように開放していけるか楽しみです。ぜひありませぬ。



社会福祉法人あそか会
あそか病院
中村 武司

「「問題と課題」の学びは1番の印象です」

研修前の自分は院内の問題や課題解決をこなしているという自負は多少ありました。しかし研修後はその自負は大きく崩れました。そもそも「問題と課題」は解決に至るための行動も意味も全く異なり、その違いも理解していなかった自分に十分な解決策は出せていないと今は思います。経営、人材、将来を考えるうえで様々な場面に「問題と課題」はあり、その対応方法や考え方一つ一つの言葉の意味など講義、宿題、グループディスカッション、発表を通して学びました。

また様々な受講者の方達と交流し、共に研修を乗り切ることで悩み・問題の共有やアドバイス等を出し合えるような新しい仲間が出来ました。この「仲間が出来た」ということも研修にて得る事ができた一つです。

研修は正直しんどいと思う事は多々ありました。しかしそれ以上に貴重な経験と知識とすばらしい仲間を得ることが出来ました。本当に充実した9ヶ月でした。お世話になりました関係医者の皆さま本当にありがとうございました。



医療法人
宮若整形外科医院
松岡 洸

「事務長の守備範囲は広く、深い。」

本研修を受講し、事務長としての姿勢の変化を一言で表現すると、「ドンと構えられるようになった」ということです。問題と課題を分けて捉え、長期的視点を持つことで、先手を打てるようになったことも成果だと思います。野球に例えると、個人プレーヤーのから監督職としての必要な思考法やフレームワークを学びました。また自院のみでなく、他の病院・施設との共同作業やオンラインコミュニケーションの中で、自院に必要な新事業(私の場合は訪問看護ステーション)情報を得る事ができ、個人的な成長以外でも自院事業へ還元する事ができました。印象深い言葉として、「あるべき姿」「問題と課題」「組織と戦略」「ベストよりベター」「説得の論拠・TPO」は物事を考えたり、コミュニケーションをとる上で新たな私の基盤となりました。事務長として学ぶべき必要な事は多々ありますが、事務長としての成長と(本来は知っておくべき)病院管理士という新たな領域を学び、二刀流になったような感覚です。非常に有意義な楽しい研修でした。自院・法人を強く・楽しい自律した組織にする、医療と介護と地域を繋ぐという個人的な思いに火をつけるような大きな原動力になりました。